

令和 5 年度 病院事業決算状況

都道府県名 福井県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	県立病院	2
-	すこやかシルバー病院	3
敦賀市	市立敦賀病院	4
坂井市	坂井市立三国病院	5
越前町	国保織田病院	6
公立小浜病院組合	小浜病院	7
公立小浜病院組合	レイクヒルズ美方病院	8
公立丹南病院組合	丹南病院	9

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名					
病院名		県立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	87,186㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	551	81.9	80.3	70.9	
療養	-	-	-	-	
結核	6	31.8	38.3	46.6	
精神	198	57.3	65.9	69.1	
感染症	4	47.4	40.3	27.5	
計	759	74.9	76.0	70.1	
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	11.5	11.3	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				43,260,071	
1 固定資産				27,321,401	
(1) 有形固定資産				24,934,473	
(2) 無形固定資産				804	
(3) 投資その他の資産				2,386,124	
2 流動資産				15,938,670	
(1) 現金及び預金				11,021,075	
(2) 未収金及び未収収益				4,759,777	
(3) 貸倒引当金()				7,633	
(4) 貯蔵品				165,451	
3 繰延資産				-	
負債合計				37,083,448	
1 固定負債				25,058,768	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				19,563,818	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				5,494,950	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				7,388,603	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				3,192,452	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				595,957	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				3,429,365	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				4,636,077	
(1) 長期前受金				38,207,201	
(2) 長期前受金収益化累計額()				33,571,124	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				6,176,623	
1 資本金				2,139,493	
2 剰余金				4,037,130	
(1) 資本剰余金				870,579	
(2) 利益剰余金				3,166,551	
負債・資本合計				43,260,071	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

設立団体の状況		
人口(人)	766,863	
決算規模(千円)	523,817,438	
標準財政規模(千円)	264,055,575	
財政力指数	0.39806	
経常収支比率(%)	92.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	153.8

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,924,112	1,969,509
資本勘定繰入	1,675,469	1,715,876
計	3,599,581	3,685,385

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名					
病院名		すこやかシルバー病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	7,485㎡	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	4	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	20：1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄	ド...人間ドック	透...人工透析	I...ICU・CCU	未...NICU・未熟児室	訓...運動機能訓練室	ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救...救急告示病院	臨...臨床研修病院	が...がん診療連携拠点病院	感...感染症指定医療機関	へ...へき地医療拠点病院	災...災害拠点病院
	地...地域医療支援病院	特...特定機能病院	輪...病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	83.8	81.8	86.2
感染症	-	-	-	-
計	100	83.8	81.8	86.2
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		43,260,071		
1 固定資産		27,321,401		
(1) 有形固定資産		24,934,473		
(2) 無形固定資産		804		
(3) 投資その他の資産		2,386,124		
2 流動資産		15,938,670		
(1) 現金及び預金		11,021,075		
(2) 未収金及び未収収益		4,759,777		
(3) 貸倒引当金()		7,633		
(4) 貯蔵品		165,451		
3 繰延資産		-		
負債合計		37,083,448		
1 固定負債		25,058,768		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		19,563,818		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		5,494,950		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		7,388,603		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		3,192,452		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		595,957		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		3,429,365		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		4,636,077		
(1) 長期前受金		38,207,201		
(2) 長期前受金収益化累計額()		33,571,124		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		6,176,623		
1 資本金		2,139,493		
2 剰余金		4,037,130		
(1) 資本剰余金		870,579		
(2) 利益剰余金		3,166,551		
負債・資本合計		43,260,071		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。				

設立団体の状況		
人口(人)	766,863	
決算規模(千円)	523,817,438	
標準財政規模(千円)	264,055,575	
財政力指数	0.39806	
経常収支比率(%)	92.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.7
	将来負担比率(%)	153.8

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	199,504	199,504
資本勘定繰入	123,531	123,531
計	323,035	323,035

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考:	
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。	

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名		敦賀市			
病院名		市立敦賀病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	30,092㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	23	指定病院の状況	救臨が感災輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	330	63.9	63.9	69.9	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	2	-	-	2.2	
計	332	63.5	63.6	69.5	
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	15.9	13.0	

貸借対照表		(千円)
区分	決算額	
資産合計	11,998,152	
1 固定資産	7,048,434	
(1) 有形固定資産	6,491,498	
(2) 無形固定資産	290,580	
(3) 投資その他の資産	266,356	
2 流動資産	4,949,718	
(1) 現金及び預金	3,510,038	
(2) 未収金及び未収収益	1,422,331	
(3) 貸倒引当金()	4,970	
(4) 貯蔵品	22,319	
3 繰延資産	-	
負債合計	8,245,594	
1 固定負債	3,296,930	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,225,241	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	1,049,498	
(6) リース債務	22,091	
2 流動負債	1,376,109	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	424,223	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	314,132	
(6) リース債務	21,990	
(7) 一時借入金	-	
(8) 未払金及び未払費用	591,997	
(9) 前受金及び前受収益	-	
3 繰延収益	3,572,555	
(1) 長期前受金	11,201,732	
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,629,177	
(3) 繰延運営権対価	-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-	
(5) 運営権者更新投資	-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-	
資本合計	3,752,558	
1 資本金	2,433,060	
2 剰余金	1,319,498	
(1) 資本剰余金	156,353	
(2) 利益剰余金	1,163,145	
負債・資本合計	11,998,152	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額()	-	
資本不足額(繰延収益控除後)()	-	
備考		

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	739,282	757,322
資本勘定繰入	279,924	279,924
計	1,019,206	1,037,246

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考： 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名		坂井市			
病院名		坂井市立三国病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,291㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	105	72.0	69.1	77.3	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	-	-	-	-	
計	105	72.0	69.1	77.3	
平均在院日数(一般病床のみ)		23.1	23.7	26.2	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				3,491,219	
1 固定資産				2,401,309	
(1) 有形固定資産				2,375,742	
(2) 無形固定資産				8,450	
(3) 投資その他の資産				17,117	
2 流動資産				1,089,910	
(1) 現金及び預金				759,042	
(2) 未収金及び未収収益				326,067	
(3) 貸倒引当金()				1,785	
(4) 貯蔵品				6,586	
3 繰延資産				-	
負債合計				2,081,499	
1 固定負債				1,507,749	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				1,507,749	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				486,896	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				227,508	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				81,706	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				175,941	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				86,854	
(1) 長期前受金				158,182	
(2) 長期前受金収益化累計額()				71,328	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				1,409,720	
1 資本金				3,450,238	
2 剰余金				-2,040,518	
(1) 資本剰余金				-	
(2) 利益剰余金				-2,040,518	
負債・資本合計				3,491,219	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	321,000	401,000
資本勘定繰入	99,000	99,000
計	420,000	500,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	112.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	2,239,008				
1 経常収益	2,239,008				
(1) 医業収益	1,811,975				
(うち修正医業収益)	1,764,611				
入院収益	982,378				
外来収益	682,968				
診療収入計	1,665,346				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	146,629				
(うち他会計負担金)	47,364				
(2) 医業外収益	427,033				
(うち国・都道府県補助金)	23,832				
(うち他会計補助・負担金)	353,636				
(うち長期前受金戻入)	15,217				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,309,310				
2 経常費用	2,306,729				
(1) 医業費用	2,186,305				
職員給与費	1,265,459	69.8	58.7	67.7	
材料費	273,537	15.1	26.9	18.3	
(うち薬品費)	121,571	6.7	14.8	8.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	125,150	6.9	11.7	9.1	
減価償却費	178,388	9.8	8.5	10.3	
経費	465,945	25.7	21.5	29.4	
(うち委託料)	243,686	13.4	11.5	13.6	
研究研修費	2,976				
資産減耗費	-				
(2) 医業外費用	120,424				
(うち支払利息)	36,206	2.0	0.9	1.1	
(3) 特別損失	2,581				
損益	経常損益	-67,721			
	純損益	-70,302			
累積欠損金	2,040,518				
経常収支比率	97.1		96.5	95.4	
医業収支比率	82.9		86.0	79.1	
修正医業収支比率	80.7		83.2	74.9	
他会計繰入金対経常収益比率	17.9		11.5	17.0	
他会計繰入金対医業収益比率	22.1		13.7	21.8	
他会計繰入金対総収益比率	17.9		11.5	17.1	
実質収益対経常費用比率	79.7		85.4	79.2	

備考：

「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名		越前町			
病院名		国保織田病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,216㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄		ド…人間ドック		透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄		救…救急告示病院		臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
		地…地域医療支援病院		特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	55	82.2	76.5	81.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	82.2	76.5	81.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	15.1	15.2

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		1,445,604		
1 固定資産		1,160,656		
(1) 有形固定資産		1,160,549		
(2) 無形固定資産		107		
(3) 投資その他の資産		-		
2 流動資産		284,948		
(1) 現金及び預金		282,826		
(2) 未収金及び未収収益		2,122		
(3) 貸倒引当金()		-		
(4) 貯蔵品		-		
3 繰延資産		-		
負債合計		803,496		
1 固定負債		277,781		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		277,781		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
2 流動負債		151,485		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		110,256		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		-		
(7) 一時借入金		-		
(8) 未払金及び未払費用		41,229		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		374,230		
(1) 長期前受金		544,858		
(2) 長期前受収益化累計額()		170,628		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		642,108		
1 資本金		329,311		
2 剰余金		312,797		
(1) 資本金剰余金		-		
(2) 利益剰余金		312,797		
負債・資本合計		1,445,604		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	123,528	131,556
資本勘定繰入	75,431	36,444
計	198,959	168,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況		
累積欠損金比率(％)	-	
健全化法上の資金不足額(千円)	-	
健全化法上の資金不足比率(％)	-	
地財法上の資金不足額(千円)	-	
地財法上の資金不足比率(％)	-	

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

特殊診療機能欄

ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療

指定病院の状況欄

救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院

地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	55	82.2	76.5	81.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	82.2	76.5	81.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.0	15.1	15.2

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,445,604
1 固定資産	1,160,656
(1) 有形固定資産	1,160,549
(2) 無形固定資産	107
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	284,948
(1) 現金及び預金	282,826
(2) 未収金及び未収収益	2,122
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	803,496
1 固定負債	277,781
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	277,781
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	151,485
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	110,256
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	41,229
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	374,230
(1) 長期前受金	544,858
(2) 長期前受金収益化累計額()	170,628
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	642,108
1 資本金	329,311
2 剰余金	312,797
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	312,797
負債・資本合計	1,445,604
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

設 立 団 体 の 状 況		
人 口 (人)	20,118	
決 算 規 模 (千円)	14,344,892	
標 準 財 政 規 模 (千円)	7,933,871	
財 政 力 指 数	0.33	
経 常 収 支 比 率 (%)	92.4	
健全化 判断比率	実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	連 結 実 質 赤 字 比 率 (%)	-
	実 質 公 債 費 比 率 (%)	9.8
	将 来 負 担 比 率 (%)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	123,528	131,556
資本勘定繰入	75,431	36,444
計	198,959	168,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名		公立小浜病院組合			
病院名		小浜病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透Ⅰ訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	32,339㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	10：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	Ⅰ…ICU・CCU	末…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	296	78.1	73.7	73.4	
療養	50	75.4	63.0	68.4	
結核	8	9.2	4.8	0.8	
精神	100	77.1	73.4	74.9	
感染症	2	100.0	100.0	100.0	
計	456	76.5	71.3	72.0	
平均在院日数(一般病床のみ)		16.4	15.9	15.9	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				13,673,926	
1 固定資産				10,863,404	
(1) 有形固定資産				10,578,995	
(2) 無形固定資産				8,831	
(3) 投資その他の資産				275,578	
2 流動資産				2,810,522	
(1) 現金及び預金				681,469	
(2) 未収金及び未収収益				1,628,515	
(3) 貸倒引当金()				349	
(4) 貯蔵品				74,374	
3 繰延資産				-	
負債合計				10,785,046	
1 固定負債				6,403,328	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				6,400,803	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				2,525	
2 流動負債				2,421,087	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				883,264	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				284,150	
(6) リース債務				3,366	
(7) 一時借入金				462,000	
(8) 未払金及び未払費用				732,555	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				1,960,631	
(1) 長期前受金				3,784,093	
(2) 長期前受金収益化累計額()				1,823,462	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				2,888,880	
1 資本金				3,149,145	
2 剰余金				-260,265	
(1) 資本剰余金				404,413	
(2) 利益剰余金				-664,678	
負債・資本合計				13,673,926	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	850,749	844,930
資本勘定繰入	478,576	248,719
計	1,329,325	1,093,649

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	11.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	9,633,748				
1 経常収益	9,633,748				
(1) 医業収益	7,793,851				
(うち修正医業収益)	7,579,404				
入院収益	4,971,926				
外来収益	2,344,535				
診療収入計	7,316,461				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	477,390				
(うち他会計負担金)	214,447				
(2) 医業外収益	1,839,897				
(うち国・都道府県補助金)	72,563				
(うち他会計補助・負担金)	630,483				
(うち長期前受金戻入)	141,357				
(うち資本費繰入収益)	247,036				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	9,591,613				
2 経常費用	9,591,613				
(1) 医業費用	8,351,059				
職員給与費	4,303,161	55.2	58.7	55.7	
材料費	1,699,357	21.8	26.9	28.9	
(うち薬品費)	907,525	11.6	14.8	15.8	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	645,051	8.3	11.7	12.7	
減価償却費	608,039	7.8	8.5	7.9	
経費	1,615,766	20.7	21.5	18.1	
(うち委託料)	496,778	6.4	11.5	10.0	
研究研修費	101,134				
資産減耗費	23,602				
(2) 医業外費用	1,240,554				
(うち支払利息)	113,402	1.5	0.9	0.9	
(3) 特別損失	-				
損益	経常損益	42,135			
	純損益	42,135			
累積欠損金	265,346				
経常収支比率	100.4		96.5	97.5	
医業収支比率	93.3		86.0	90.0	
修正医業収支比率	90.8		83.2	87.2	
他会計繰入金対経常収益比率	8.8		11.5	9.6	
他会計繰入金対医業収益比率	10.8		13.7	11.0	
他会計繰入金対総収益比率	8.8		11.5	9.7	
実質収益対経常費用比率	91.6		85.4	88.1	

備考：

「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名		公立小浜病院組合			
病院名		レイクヒルズ美方病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	13,137㎡	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	13：1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック	透…人工透析	I…ICU・CCU	未…NICU・未熟児室	訓…運動機能訓練室	ガ…ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院	臨…臨床研修病院	が…がん診療連携拠点病院	感…感染症指定医療機関	へ…へき地医療拠点病院	災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院	特…特定機能病院	輪…病院群輪番制病院			

病床利用率・平均在院日数(％・日)				
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度
一般	42	75.5	71.2	75.1
療養	58	80.0	79.2	83.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	78.1	75.9	80.0
平均在院日数(一般病床のみ)		24.0	22.8	22.8

貸借対照表(千円)				
区分		決算額		
資産合計		13,673,926		
1 固定資産		10,863,404		
(1) 有形固定資産		10,578,995		
(2) 無形固定資産		8,831		
(3) 投資その他の資産		275,578		
2 流動資産		2,810,522		
(1) 現金及び預金		681,469		
(2) 未収金及び未収収益		1,628,515		
(3) 貸倒引当金()		349		
(4) 貯蔵品		74,374		
3 繰延資産		-		
負債合計		10,785,046		
1 固定負債		6,403,328		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		6,400,803		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		-		
(6) リース債務		2,525		
2 流動負債		2,421,087		
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債		883,264		
(2) その他の企業債		-		
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金		-		
(4) その他の長期借入金		-		
(5) 引当金		284,150		
(6) リース債務		3,366		
(7) 一時借入金		462,000		
(8) 未払金及び未払費用		732,555		
(9) 前受金及び前受収益		-		
3 繰延収益		1,960,631		
(1) 長期前受金		3,784,093		
(2) 長期前受金収益化累計額()		1,823,462		
(3) 繰延運営権対価		-		
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()		-		
(5) 運営権者更新投資		-		
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()		-		
資本合計		2,888,880		
1 資本金		3,149,145		
2 剰余金		-260,265		
(1) 資本剰余金		404,413		
(2) 利益剰余金		-664,678		
負債・資本合計		13,673,926		
不良債務		-		
実質資金不足額		-		
資本不足額()		-		
資本不足額(繰延収益控除後)()		-		
備考				

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。				
---	--	--	--	--

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	265,416	271,392
資本勘定繰入	61,928	89,842
計	327,344	361,234

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(％)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(％)	11.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(％)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(％)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和5年度)				都道府県名	
				福井県	
市町村・組合名		公立丹南病院組合			
病院名		丹南病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	15,070㎡	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
許可公営企業		看護配置	7：1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄	ド…人間ドック透…人工透析I…ICU・CCU末…NICU・未熟児室訓…運動機能訓練室ガ…ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄	救…救急告示病院臨…臨床研修病院が…がん診療連携拠点病院感…感染症指定医療機関へ…へき地医療拠点病院災…災害拠点病院
	地…地域医療支援病院特…特定機能病院輪…病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数					(%・日)
区分	病床数	令和5年度	令和4年度	令和3年度	
一般	175	62.5	64.8	66.1	
療養	-	-	-	-	
結核	-	-	-	-	
精神	-	-	-	-	
感染症	4	-	-	-	
計	179	61.1	63.3	64.6	
平均在院日数(一般病床のみ)		10.5	10.3	10.1	

貸借対照表					(千円)
区分				決算額	
資産合計				4,548,679	
1 固定資産				4,326,188	
(1) 有形固定資産				4,326,188	
(2) 無形固定資産				-	
(3) 投資その他の資産				-	
2 流動資産				222,491	
(1) 現金及び預金				196,853	
(2) 未収金及び未収収益				25,638	
(3) 貸倒引当金()				-	
(4) 貯蔵品				-	
3 繰延資産				-	
負債合計				2,353,595	
1 固定負債				861,483	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				861,483	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
2 流動負債				206,009	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債				194,854	
(2) その他の企業債				-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金				-	
(4) その他の長期借入金				-	
(5) 引当金				-	
(6) リース債務				-	
(7) 一時借入金				-	
(8) 未払金及び未払費用				11,142	
(9) 前受金及び前受収益				-	
3 繰延収益				1,286,103	
(1) 長期前受金				2,318,977	
(2) 長期前受金収益化累計額()				1,032,874	
(3) 繰延運営権対価				-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()				-	
(5) 運営権者更新投資				-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()				-	
資本合計				2,195,084	
1 資本金				746,619	
2 剰余金				1,448,465	
(1) 資本剰余金				3,476,501	
(2) 利益剰余金				-2,028,036	
負債・資本合計				4,548,679	
不良債務				-	
実質資金不足額				-	
資本不足額()				-	
資本不足額(繰延収益控除後)()				-	
備考					

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	215,027	217,012
資本勘定繰入	69,578	69,578
計	284,605	286,590

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1170.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうちの他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
うちの他会計負担金を除いたものと医業外収益から
他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

損益計算書					(千円・%)
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	420,272				
1 経常収益	420,272				
(1) 医業収益	173,288				
(うち修正医業収益)	-				
入院収益	-				
外来収益	-				
診療収入計	-				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	173,288				
(うち他会計負担金)	173,288				
(2) 医業外収益	246,984				
(うち国・都道府県補助金)	2,142				
(うち他会計補助・負担金)	43,724				
(うち長期前受金戻入)	129,384				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	422,999				
2 経常費用	419,471				
(1) 医業費用	401,082				
職員給与費	-	-	58.7	67.7	
材料費	-	-	26.9	18.3	
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.7	9.1	
減価償却費	308,178	177.8	8.5	10.3	
経費	83,820	48.4	21.5	29.4	
(うち委託料)	7,532	4.3	11.5	13.6	
研究研修費	-				
資産減耗費	9,084				
(2) 医業外費用	18,389				
(うち支払利息)	9,083	5.2	0.9	1.1	
(3) 特別損失	3,528				
損益	801				
純損益	-2,727				
累積欠損金	2,028,036				
経常収支比率	100.2		96.5	95.4	
医業収支比率	43.2		86.0	79.1	
修正医業収支比率	-		83.2	74.9	
他会計繰入金対経常収益比率	51.6		11.5	17.0	
他会計繰入金対医業収益比率	125.2		13.7	21.8	
他会計繰入金対総収益比率	51.6		11.5	17.1	
実質収益対経常費用比率	48.5		85.4	79.2	

備考：

「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。